

ログインユーザ：
春原 若菜

シラバス参照

科目名	薬学総合演習B
配当年次	3年次
開講期間	後期
単位数	1
担当教員	岩館 怜子(イワダテ レイコ) 袁 博(エン パク) 北村 雅史(キタムラ マサシ) 村田 勇(ムラタ イサム) 茂木 肇(モテキ ハジメ) 畑中 朋美(ハタナカ トモミ)
期間・曜日・時限・教室	後期 月曜日 1時限 18－101 後期 月曜日 1時限 18－102 後期 月曜日 1時限 18－103 後期 月曜日 1時限 21－201

※	
授業の目的・目標	(1)授業の概要 薬剤師に求められる知識を身に着けるための学習法を学ぶとともに、多職種連携教育(IPE)により薬剤師になるための医療人マインドを研磨して学習意欲を高めます。 (2)授業の目的 モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要とされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とします。 (3)修得できる力 知識を収集し、グループ内で議論し、論理的に統合することにより、問題を解決する能力が身に付きます。(知識・技能・態度) (4)授業の到達目標 薬剤師に求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を身に着けるため、薬剤師国家試験に立ち向かう学習法を習得するとともに、協働して問題解決に当たる意義を理解することを到達目標とします。
準備学習等の指示	事前に提示された課題を解決するために必要な情報を、教科書や参考書、Web等から収集し、授業に参加すること。モバイル学習により自学自習すること。
講義スケジュール	1. 概論:モバイル学習とグループ学習の進め方を理解する(畑中、岩館、袁、北村、茂木) 2. IPE演習1:講義、映像により多職種連携について学ぶ(畑中、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 3. IPE演習1:課題を討論し、成果を発表する(畑中、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 4. 物理・化学・生物1:問題解説を作成する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 5. 物理・化学・生物2:問題解説を発表する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 6. 物理・化学・生物3:問題解説を作成する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 7. 物理・化学・生物4:問題解説を発表する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 8. 薬理1:問題解説を作成する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 9. 薬理2:問題解説を発表する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 10. 薬理3:問題解説を作成する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 11. 薬理4:問題解説を発表する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 12. 病態・薬物治療1:問題解説を作成する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 13. 病態・薬物治療2:問題解説を発表する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 14. 病態・薬物治療3:問題解説を作成する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 15. 病態・薬物治療4:問題解説を発表する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)]
教科書	領域別既出問題集 物理、化学、生物、薬理、病態・薬物治療
参考文献	関連科目の教科書、参考書、Web情報等
授業の方法	薬剤師国家試験問題や医学・薬学に関する映像・講義を題材に、グループ内で課題解決について議論し、その成果を発表する。
成績評価方法	試験(筆記、口頭)、グループワーク、プレゼンテーション

	試験80%、グループ学習(ルーブリック)評価20%
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー参照
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	学習内容はSBOsに準拠するが、学習方法は本学独自の取り組みである。
添付ファイル	

ログインユーザ：
春原 若菜

シラバス参照

科目名	薬学総合演習B
配当年次	3年次
開講期間	後期
単位数	1
担当教員	岩館 怜子(イワダテ レイコ) 袁 博(エン パク) 北村 雅史(キタムラ マサシ) 村田 勇(ムラタ イサム) 茂木 肇(モテキ ハジメ) 畑中 朋美(ハタナカ トモミ)
期間・曜日・時限・教室	後期 月曜日 2時限 18－101 後期 月曜日 2時限 18－102 後期 月曜日 2時限 18－103 後期 月曜日 2時限 21－201

※	
授業の目的・目標	(1)授業の概要 薬剤師に求められる知識を身に着けるための学習法を学ぶとともに、多職種連携教育(IPE)により薬剤師になるための医療人マインドを研磨して学習意欲を高めます。 (2)授業の目的 モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要とされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とします。 (3)修得できる力 知識を収集し、グループ内で議論し、論理的に統合することにより、問題を解決する能力が身に付きます。(知識・技能・態度) (4)授業の到達目標 薬剤師に求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を身に着けるため、薬剤師国家試験に立ち向かう学習法を習得するとともに、協働して問題解決に当たる意義を理解することを到達目標とします。
準備学習等の指示	事前に提示された課題を解決するために必要な情報を、教科書や参考書、Web等から収集し、授業に参加すること。モバイル学習により自学自習すること。
講義スケジュール	1. 概論:モバイル学習とグループ学習の進め方を理解する(畑中、岩館、袁、北村、茂木) 2. IPE演習1:講義、映像により多職種連携について学ぶ(畑中、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 3. IPE演習1:課題を討論し、成果を発表する(畑中、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 4. 物理・化学・生物1:問題解説を作成する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 5. 物理・化学・生物2:問題解説を発表する(岩館、袁、北村、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 6. 物理・化学・生物3:問題解説を作成する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 7. 物理・化学・生物4:問題解説を発表する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 8. 薬理1:問題解説を作成する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 9. 薬理2:問題解説を発表する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 10. 薬理3:問題解説を作成する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 11. 薬理4:問題解説を発表する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 12. 病態・薬物治療1:問題解説を作成する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 13. 病態・薬物治療2:問題解説を発表する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 14. 病態・薬物治療3:問題解説を作成する(北村、袁) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)] 15. 病態・薬物治療4:問題解説を発表する(岩館、茂木) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5)]
教科書	領域別既出問題集 物理、化学、生物、薬理、病態・薬物治療
参考文献	関連科目の教科書、参考書、Web情報等
授業の方法	薬剤師国家試験問題や医学・薬学に関する映像・講義を題材に、グループ内で課題解決について議論し、その成果を発表する。
成績評価方法	試験(筆記、口頭)、グループワーク、プレゼンテーション、レポート等

	試験80%、グループ学習(ルーブリック)評価20%
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー参照
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	学習内容はSBOsに準拠するが、学習方法は本学独自の取り組みである。
添付ファイル	